

5-3 本時の目標と展開

【第1学年 フォークダンス「オクラホマ・ミクサーとドードレブスカ・ポルカ」 12 / 14 時間】

(1)本時の目標

- 「オクラホマ・ミクサー」と「ドードレブスカ・ポルカ」の踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて踊ることができるようにする。 (技能)
- 外国のフォークダンスの学習に積極的に取り組むことができるようにする。 (態度)
- パートナーチェンジやポルカステップの練習で、適切な方法を選ぶことができるようにする。 (知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての思考・判断を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ10分	1 ウォーミングアップを行う。(前時の踊りを復習する。) 2 本時のねらいと学習内容を確認する。 <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">                         パートナーチェンジやポルカステップを練習して、外国のフォークダンス「オクラホマ・ミクサー」と「ドードレブスカ・ポルカ」をみんなで楽しく踊ろう。                     </div>	・ストレッチを中心とした運動を一緒に行う。 ・前時の踊り「花笠音頭」をみんなで踊り、日本の踊りの特徴を確認する。 ・外国のフォークダンスの特徴は、組み方やステップ、隊形にあることを説明する。
なか35分	3 「オクラホマ・ミクサー」の踊りを覚えて踊る。 (1) 踊りの由来を理解し、踊りを大づかみに覚えて踊る。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-left: 10px;">                         「オクラホマ・ミクサー」                          アメリカの踊り                          ダブルサークル                          (男 内側 女 外側)                          バルソビアナポジション                     </div> (2) 難しい踊りを取り出して練習して踊る。 4 「ドードレブスカ・ポルカ」の踊りを覚えて踊る。 (1) 踊りの由来を理解し、踊りを大づかみに覚えて踊る。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-left: 10px;">                         「ドードレブスカ・ポルカ」                          旧チェコスロバキアの踊り                          隊形の多様な変化がある。                          パートナーチェンジにゲーム的な要素をもつ。                     </div> (2) 難しい踊りを取り出して練習して踊る。 ・「ポルカステップ」と「ポルカターン」の練習をグループ毎に行う。 5 練習したことに注意して、クラス全員で「オクラホマ・ミクサー」と「ドードレブスカ・ポルカ」を踊る。	・踊りの由来と踊り方を大まかに説明しながら、一緒に踊る。 <div style="background-color: #add8e6; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         まずは、全体を通してゆっくりやってみよう。                     </div>  <p style="text-align: right;">バルソビアナポジション</p> ・メロディーを口ずさみながら行くと、気分と動きが途切れないことを助言する。 ・バルソビアナポジションからのパートナーチェンジを、歌を歌いながら繰り返し練習する。  <p style="text-align: center;">プロムナードポジション</p>  <p style="text-align: center;">クローズド・ポジション</p> ・「クローズドポジション」で「ポルカターン」をする部分が難しい場合には、「プロムナードポジション」でのポルカステップでもよいことを伝える。 ・クローズドポジションが無理な場合は、プロムナードポジションで前進してもよいことを伝える。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         ☆難しい踊り方の練習方法を適切に選んでいる。                          【思考・判断②】 (学習カード)                     </div>
まとめ5分	6 本時のまとめ ・学習カードを記入する。	・ポルカステップやポルカターンなどの動きの特徴をとらえて「ドードレブスカ・ポルカ」を踊ることができたか確認し、学習カードを記入させる。

《参考資料》「初心者向けの授業づくりの工夫」

(1) 2人組でのウォーミングアップ（心と体をほぐす）活動例

「空間を自由に移動するよ。他のペアとぶつからないで！」



「肩を持って自由に移動」

「高速回転から、急激にストップ！」



「グルグルストップ」

「素早く足を動かして、相手と駆け引き！」



「自分の足を踏まれないように相手の足を踏む」

(2) 「創作ダンス」「現代的なリズムのダンス」に中学生が楽しく取り組むための工夫例

- ① グループは固定しない。（多くの仲間と関わり合う）
- ② 生徒同士が自由に向かい合う隊形で踊る。
- ③ 教師も生徒の中に入って踊ったり、指導したりする。
- ④ 人と違う動きを「素晴らしい！」とほめる。
- ⑤ 恥ずかしがる生徒を叱らずに、楽しい雰囲気を作り、仲間から誘うようにする。
- ⑥ 異性を意識しすぎる場合は、同性同士のグループでよい。



「友だちと関わり合いながらリズムに乗って」

即興的に自由に踊る活動を大切に！

(3) 「創作ダンス」のテーマを取り上げる視点

- ① 生徒の興味、関心が高いもの
- ② 動きの特徴がつかみやすいもの
- ③ いろいろな動きが発見できるもの
- ④ 生活体験や感動のあるもの
- ⑤ 動きの工夫ができるもの
- ⑥ 多様なとらえ方ができるもの



「働く人々」



「集まるーとび散る」

(4) 「フォークダンス」に楽しく取り組むための工夫例

- ① 全体を大づかみに覚えて踊る活動をテンポよく行う。  
（踊りながら動きの特徴をつかませる、みんなで歌いながら踊る）
- ② 踊りの由来をつかませる。  
（どこの国・地域の踊りか、動きにどんな意味があるか）
- ③ 教員も生徒の中に入って一緒に踊る。
- ④ 難しい動きは、後でとりだして練習する。
- ⑤ 教師も「楽しい！」気持ちで授業をする。



「バージニア・リール」

中学校第3学年 「創作ダンス・フォークダンス・現代的なリズムのダンス」

# 三つのダンスから好きなダンスを選んで自主的に取り組もう

## 1 授業の基本的な構想

### (1) 授業のねらい

本事例は、第1・2学年で、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」それぞれの特性に深く触れながらじっくり学習した経験を基に、第3学年において、三つのダンスの中から好きなダンスを生徒が選んで自主的に学習することができるように工夫しています。

### (2) 授業づくりの考え方

#### 共通の学習（単元の前半）から選択の学習（単元の後半）へ

共通の学習で取り上げる内容は、「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」「創作ダンス」の順で指導することとし、単元後半のダンスの選択につながるようにしています。

「フォークダンス」は、単元前半の2時間で、日本の民踊と外国のフォークダンスを二つずつ取り上げ、それぞれの曲目を大づかみに覚えて踊るとともに、資料〔書籍・写真・VTRなど〕からその曲目の由来や特徴的なステップ等について学習します。単元後半の学習でフォークダンスを選択する生徒は単元前半で学んだ四つの曲目から好きな曲目を選択し、他の班に学んだ内容を伝えること等も含めた自主的な学びを通してフォークダンスへの理解を深めていきます。

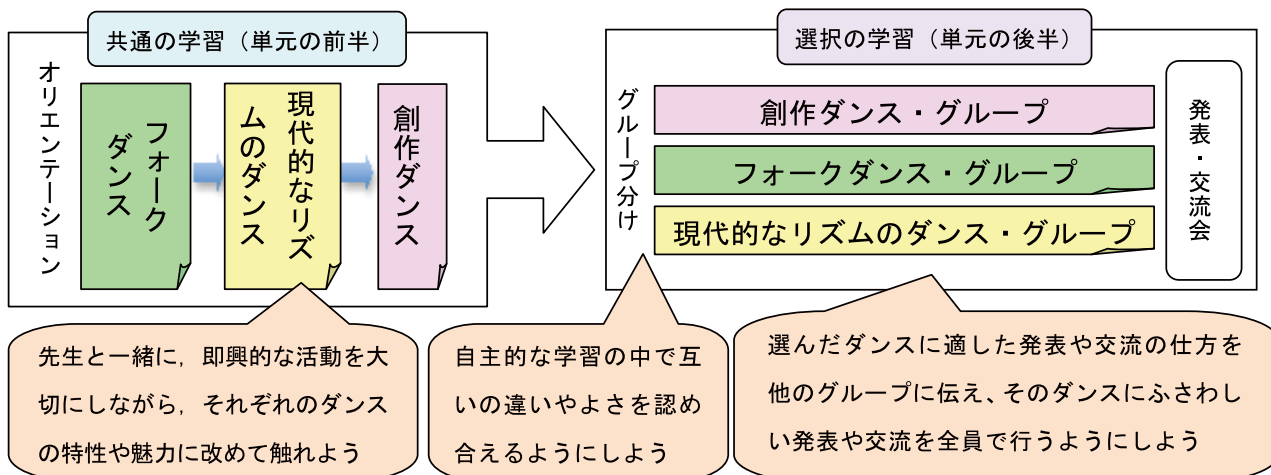
「現代的なリズムのダンス」は、ロックとヒップホップのリズムに乗って、友だちとかかわりながら全身で自由に踊る活動を基本にし、動きの連動・ずらしや、ダイナミックなアクセントを付ける等の特徴的な動き方を学びます。単元前半で学んだ動きや仲間とのかかわり方、群の構成等を生かして、単元後半では生徒が自主的にオリジナルダンスにまとめ、発表と交流を行います。選曲は、単元前半で使用した音楽や生徒が選曲するというように選択の幅を持たせています。

「創作ダンス」は、単元前半でいくつかの異なる音楽から思い浮かんだイメージを即興的に表現する課題（多様な感じ）と、「見る」というイメージを喚起しやすい動きを伴った簡単な群の構成（集まる・とび散る）を学びます。単元前半で学んだ異なる質感の音楽と動きの中から気に入ったものを選び、自分たちの表したいイメージで作品にまとめ、発表を行うことが単元後半での課題となります。

以上のように、本単元では、単元前半で教師とともに三つのダンスの特性に触れる基本の内容を学習し、単元後半では、前半の学習を基に生徒が自主的に深めていく構成になっています。単元後半の学習では選択したダンスごとにグループ分けし、学習計画を作成させ学習の見通しをもたせることや、鑑賞や交流の仕方を仲間に説明することを、自主的な学びに迫るための活動として取り入れています。また、1人の教師が指導を行うことを想定し、単元の最後には、三つの班の合同発表・交流会という形を取っています。

なお、「技能」はもちろんのこと、学習に自主的に取り組もうとする「態度」や、自己の課題に応じた運動の取り組み方の工夫を行う「思考・判断」、そして、交流や発表の仕方などを理解する「知識」についての学習を、バランスよく指導できるようにしています。

### <単元の展開例>



## 2 単元の目標

- (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表ができるようにする。 (技能)
- ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。
  - ・フォークダンスでは、日本の踊りや外国のフォークダンスの踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。
  - ・現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップなどのリズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。
- (2) 互いの違いやよさを認め合おうとすること、自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 (態度)
- (3) 三つのダンスの特性、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 (知識、思考・判断)

## 3 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの違いやよさを認め合おうとしている。</li> <li>・自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのダンスの特徴に合った踊りの構成を見付けている。</li> <li>・発表や仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘している。</li> <li>・健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>・ダンスを継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊るための動きができる。</li> <li>・フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊るための動きができる。</li> <li>・現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップなどのリズムの特徴をとらえ、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊るための動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三つのダンスの特徴や表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・交流や発表の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> </ul>
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①練習や意見交換の場で互いの違いやよさを認め合おうとしている。</li> <li>②役割分担した自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>③健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①グループ毎に、選択したダンスの特徴に合った踊りの構成を見付けている。</li> <li>②発表や仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘している。</li> <li>③健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>④ダンスを継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①創作ダンスでは、多様なテーマから緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり簡単な作品にまとめて踊ることができる。</li> <li>②フォークダンスでは、特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。</li> <li>③現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップなどのリズムの特徴をとらえ、個と群の動きを強調してまとまりを付けて踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①三つのダンスの特徴や表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>②交流や発表の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>③運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> </ul>



4 指導と評価の計画(例)

三つのダンスから好きなダンスを選んで自主的に取り組もう

学習の段階	オリエンテーション	共通の学習① フォークダンス		共通の学習② 現代的なリズムのダンス		共通の学習③ 創作ダンス	
		特徴的なステップや動きと組み方で踊り交流しよう		リズムの特徴をとらえて、変化とまとまりで自由に弾んで踊ろう		表したいテーマにふさわしいイメージを緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に踊ろう	
毎時間の小テーマ	既習の三つのダンスを踊る	越中おわら節 オスローワルツ	よさこい節 ハーモニカ	ロック・ヒップホップ①	ロック・ヒップホップ②	多様な感じ	「見る」×群
時数	1	2	③	4	⑤	6	⑦
一時間の学習の流れ	0	1 ウォーミングアップ(心と体のほぐし) 2 本時のねらいと学習内容の確認					
		<p><b>3 単元の学習の進め方を知る</b> 三つのダンスの特性を知る</p>	<p><b>3 日本と外国の踊りを大づかみに覚えて踊ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>越中おわら節(富山県)</li> <li>オスローワルツ(イギリス)</li> </ul> <p>*由来を知る *踊り方を大づかみに覚えて踊る</p>	<p><b>3 ロックとヒップホップのリズムに乗って全身で自由に踊ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体幹部でリズムをとって弾んで踊る</li> <li>体の各部位の動きをずらす、連動させる</li> </ul>	<p><b>3 本時のテーマを即興的に表現して踊ろう</b></p> <p>多様な感じ</p> <p>「見る」×群</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の内容「走る-止まる」を2~3人組で踊る</li> <li>三つの異なるイメージ(静かな/力強い/重々しい)の音楽で即興的に表現する</li> <li>「集まる-とび散る」に「見る」動きを加える</li> <li>異なるイメージ(「出口はどこだ」等)を加え班毎に創作する</li> </ul>		
第三学年	10	<p><b>4 1、2年生で学習したダンスを復習して踊る</b></p> 	<p><b>4 それぞれの踊りの特徴を理解して踊ろう</b></p>	<p><b>4 本時で学んだリズムの特徴を生かして全身で自由に弾んで踊ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2人組で向き合い、相手と対応しながら踊る</li> <li>5・6人組で個と群の動きを強調しながら踊る</li> </ul>	<p><b>4 本時のテーマから表したいイメージをとらえ、動きを工夫して踊ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスを二つに分け、半分のペアずつで発表</li> <li>ペアグループ同士で発表</li> </ul>		
						20	<p><b>5 学習のまとめ</b></p>
30	<p>③ (観察)</p>	<p>① (学習カード・観察)</p> <p>② (学習カード・観察)</p>	<p>③ (学習カード・観察)</p>				
				40	<p>① (学習カード・観察)</p> <p>② (学習カード・観察)</p>		
50	<p>② (観察)</p>						
		<p>運動への関心・意欲・態度</p>	<p>③ (観察)</p>	<p>① (学習カード・観察)</p> <p>② (学習カード・観察)</p>	<p>② (観察)</p>		
<p>運動についての思考・判断</p>	<p>③ (学習カード・観察)</p>						
<p>運動の技能</p>	<p>② (観察)</p>						
<p>運動についての知識・理解</p>	<p>① (学習カード・観察)</p> <p>② (学習カード・観察)</p>						

※時数を○で囲んであるものは「本時の目標と展開」を例示した。

ダンスを選択して取り組む授業 第3学年（13時間）

選択したダンスのグループでの学習						
グループに分かれ、選択したダンスを自主的に学習しよう						
ダンスの選択とグループ作り	各グループでの活動			発表や交流の仕方を工夫する	合同発表・交流会	
8	9 ~ 12				13	
1 ウォーミングアップ(心と体のほぐし) 2 本時のねらいと学習内容の確認						
<b>3 内容を選択する</b> ・選択して学習する意義を理解し、三つのダンスの中から、ひとつの内容を選択する。  ・同じ内容を選択した者でグループを作る	<b>3 共通の学習で学んだ内容を踏まえて、活動する</b> 「創作ダンス」を選択 グループ毎にテーマを決め、選曲は、共通の学習での音楽の中から1曲を選曲する。			・鑑賞班に感想の発表の仕方を伝える ・各作品の動きの練習	・創作班の発表→鑑賞班からの感想発表	
	<b>「現代的なリズムのダンス」を選択</b> 自主的な学習の中で、グループ毎に選曲は、共通の学習での音楽を基本とするが、生徒による選曲も可能とする。				・鑑賞班に交流の仕方を伝える ・動きや構成等の確認と練習	・現代的なリズム班の発表・交流
	<b>「フォークダンス」を選択</b> グループ毎に気に入った踊りを選び、みんなで交流する。				・他の班にフォークダンスを教えるための練習	・みんなでフォークダンスで交流
5 学習のまとめ ・単元のまとめ(自分とダンスの関わりを考える。)						
③ (学習カード)		① (学習カード)			④ (学習カード)	
				①②③ (観察)	①②③ (観察)	
		③ (学習カード)				

5-1 本時の目標と展開

【第3学年 共通の学習① フォークダンス 3 / 13 時間】

(1)本時の目標

- 「よさこい節」と、「ハーモニカ」の踊りの特徴をとらえ、主なステップや動きと組み方ができるようにする。 (技能)
- フォークダンスに自主的に取り組むとともに、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (態度)
- 「よさこい節」と「ハーモニカ」の由来や踊りの特徴について理解することができるようにする。 (知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての知識・理解を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ5分	1 ウォーミングアップ (心と体のほぐし) をする。 2 本時のねらい・学習内容の確認 「よさこい節」と「ハーモニカ」のそれぞれの踊りの特徴を理解し、仲間と楽しく踊ろう	・ウォーミングアップは、ダンスの授業に入っていけるよう、テンポの良い音楽をかけて行う。
なか40分	3-1 「よさこい節」を大づかみに覚えて踊ろう ・よさこい節の由来を理解する。 高知県の代表的なお座敷唄で、唄の最後の囃子詞「ヨサコイ」が曲名となった。 ・踊り方を大づかみに覚えて通して踊る。 隊形：輪おどり / 進行方向：時計回り 主な上肢の動き：伏せ伸ばし、眺めかざし、山開き等の動き  3-2 「ハーモニカ」を大づかみに覚えて踊ろう ・ハーモニカの由来を理解する。 「マイム・マイム」と同じくイスラエルの踊り。故国に対する郷土愛や、その建設に対する勇気や希望などにあふれる若々しくリズムカルなフォークダンスである。 ・踊り方を大づかみに覚えて踊る 隊形：シングルサークルで内向きで低く連手 <主なステップ> A グレーブバインとステップ・ホップ B ハーモニカステップ C 体重移動のバランスとランニング	よさこい節は、手拍子をする時の間合いや、柔らかい腕の使い方に特徴があるね。单元後半では、しっかり踊り方の特徴に挑戦していくよ！  ・あまり細かなところまで踏みこまず、元気に踊るよう助言する  ハーモニカは、リズムカルに弾んで踊ると楽しいフォークダンスだよ。バランスとランニングのパートは、肩を組むことで、仲間意識が高まっていくよ。  ラーララ、ラーララ、元気にかけ声をかけて踊ろう  ☆三つのダンスの特徴や表現の仕方について、学習した具体例を挙げています。 【知識・理解①】 (学習カード・観察)
まとめ5分	5 本時のまとめ ・意見交換、学習カードの記入	・踊りの特徴をつかむことができたか、選択の学習に向けての課題が明確になったか等について、意見交換させる。 ・学習カードを記入させ、本時のまとめを行う。




5-2 本時の目標と展開

【第3学年 共通の学習② 現代的なリズムのダンス ロック・ヒップホップ② 5 / 13 時間】

(1)本時の目標

- ロックとヒップホップのリズムの特徴をとらえて、全身で自由に弾んで踊ることができるようにする。(技能)
- 練習や踊りの紹介の場面で、互いの違いやよさを認め合うことができるようにする。(態度)
- 動きの紹介などで互いの動きの違いやよさを指摘することができるようにする。(知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての関心・意欲・態度を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価(☆)
はじめ5分	1 ウォーミングアップ(心と体のほぐし)をする。 2 本時のねらいと学習内容の確認 <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <b>ロックとヒップホップのリズムに乗って、変化とまとまりをつけて踊ろう</b> </div>	・2人組になり、前時に学んだリズム(曲)に乗って、全身で自由に弾んで踊ることを伝える。
なか40分	3 ロックとヒップホップのリズムに乗って全身で踊る。 ・先生やリーダーのまねをしたり2人組でリーダーを交代しながら自由に踊る。  4 同じリズムを選んだ人と組になり、変化とまとまりや個と群の動きを工夫して踊る。 ・2人組で相手と対応して踊る。 ・三つのペアが一緒になり、5~6人の群でお互いの動きを紹介し合い、動きを組み合わせて踊る。 	・ロックとヒップホップのリズムの音楽を順番に流し、踊りながらそれぞれの乗り方の特徴を復習させる。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>体幹部を中心に全身でビートに合わせて弾もう</p> <p>ダイナミックなアクセントをつけて踊ろう</p> <p>動きをずらしたら面白いね!</p> </div> ・ロックとヒップホップのどちらかを選ばせ、選んだリズム(音楽)の特徴をつかんで、変化とまとまりを付けて踊らせる。 <div style="border: 1px dashed #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>動きを工夫する視点</b>                      ・短い動きを繰り返す ・対立する動きを組み合わせる                      ・ダイナミックなアクセントを加える                      ・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を工夫して動きに変化を付ける                 </div> ・自分たちの作った動きを相手のペアに踊りながら紹介しあい、動きを連続して踊らせる。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #fff9e6;">                     ☆練習や意見交換の場で、互いの違いやよさを認め合おうとしている。  <b>【関心・意欲・態度①】</b>                      (観察・学習カード)                 </div>
まとめ5分	5 本時のまとめを行う	・ロックやヒップホップのリズムの特徴をつかんで踊ることができたか、仲間のよさや違いを認めてあげたかについて確認し、学習カードを記入させる。




### 5-3 本時の目標と展開

【第3学年 共通の学習③ 創作ダンス「見る」×群 7 / 13 時間】

(1) 本時の目標

- テーマD「群（集団）の動き」から「集まるーとび散る」の群の動きを手掛りに、いろいろな方向を「見る」ポーズを加え、表したいテーマにふさわしいイメージを緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけて踊ることができるようにする。 (技能)
- 自己の考えを述べたり、相手の話を聞いたり、自己の役割に責任を持ち、練習や発表に自主的に取り組むことができるようにする。 (態度)
- 発表や交流の場面では、互いの違いやよさを指摘できるようにする。 (知識、思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての思考・判断を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ 5分	1 ウォーミングアップ（心と体のほぐし）をする。 2 本時のねらいと学習内容の確認	1 仲間と関わりながら、色々な運動が自由に行えるようにする。 2 群の動きに「見る」ポーズを加え、グループ毎にイメージを加えて工夫し、表現に発展させていくことを伝える。
	表したいテーマにふさわしいイメージを、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて踊ろう	
なか 40分	3 既習の群のテーマ「集まる - とび散る」に、いろいろな方向を「見る」ポーズを加えて動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現する。 ⇒「集まるーとび散るー見るーもう一度集まるー見るー見るーとび散る」(高低・方向を工夫して) <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> 4 「見る」×群の動き（集まるーとび散るー見るーもう一度集まるー見るー見るーとび散る）を基本にしながら、イメージにふさわしいひと流れの動きを創作する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 5～6人のグループに分かれる。</li> <li>(2) 選択したイメージにふさわしい動きや空間の使い方になるよう工夫する。</li> <li>(3) 発表と鑑賞</li> </ol>	○体全体を使って瞬時に「見る」ポーズを創るよう促す。 ・はじめは、教師のタンパリンの合図に合わせて、「見る」ポーズを変化できるようにする。 ・ポーズからポーズへの動きには「素早く、ゆっくりと、とびながら」などいろいろな可能性があることを伝える。 ・「見る」方向を色々な角度にし、仲間同士で身体の高低の差をつけるなど、ポーズの仕方を工夫できるようにする。 <div style="background-color: #d1ecf1; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         集まった時にいろいろな方向を見ながら高さや向きを変えると、大変だけど、面白い形ができるね。                     </div> ○「見る」×群の動きを教師と行ってみて、どんなイメージがわくかを問いかける。(ブレインストーミング) ・教師がいくつかイメージの候補を準備しておく。 ・グループ分けは積極的な生徒を各グループに振り分けるよう配慮する。 ※支援を要する状況に対する指導：表したいイメージの場面と一緒に考えてみる。たとえば「はじけるシャボン玉」なら、どうですか？それは、動きや空間の使い方だと考えると、どんな風に行えるか、一つずつ考えてみる。 ・ペアグループ同士で、本時にできたところまでを発表する。 ・ペアの相手の班の発表を鑑賞し、表したいイメージにふさわしい動きや空間の使い方ができていたか、よかった点を中心に伝え合う。学習カードに記入する。
まとめ 5分	5 本時のまとめ ・意見交換、学習カードの記入	・学習カードを記入させ、本時のまとめを行う。

☆発表や仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘している。  
**【思考・判断③】**（学習カード・観察）

《参考資料》創作ダンスの学習カードの例

月 日

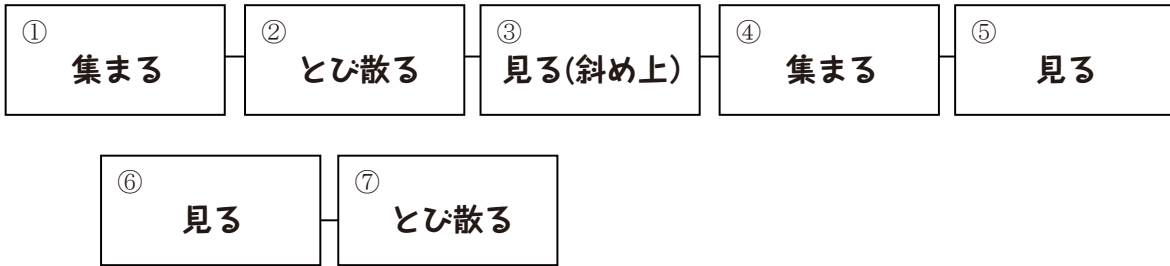
# ダンスの動きづくり

年 組 番 氏名

◎創作ダンスでは、イメージにふさわしい動きを工夫して踊ってみよう。例えば、「細胞分裂」というテーマでは、まず、「一つであった細胞が二つ、四つと分裂し、あっという間にたくさんの細胞に分かれ、エネルギーを発する」などのイメージを仲間同士で出しあい、次に、そのイメージにふさわしい動きをみんなで動きながら考えてみよう。その時に、①集まる→②とび散る→③見る(斜め上…)などの具体的な動きを学習カードに記録しておくとうい。

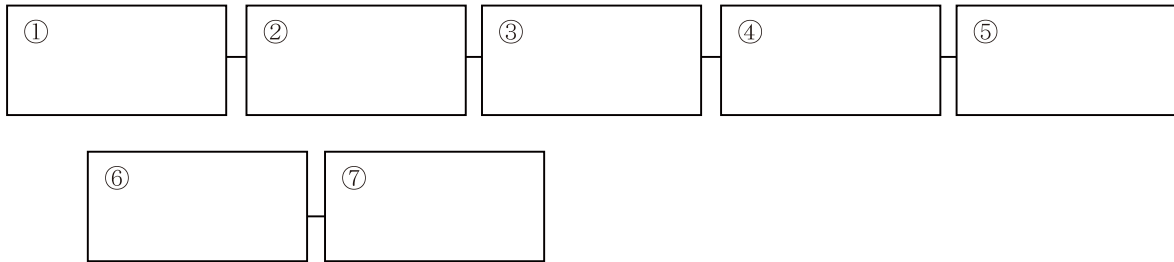
表したいイメージ		動きの選択肢のヒント	
例	細胞分裂	目線	前・上・右・左・下・後・斜め上・斜め下…
		体	高い・低い・中くらい
		空間	集まる・離れる・

<ひと流れの動き(例「細胞分裂」)>



◎上の例を参考に自分達の表したいイメージをひと流れの動きにしてみよう

表したいイメージ		動きの選択肢のヒント	
		目線	前・上・右・左・下・後・斜め上・斜め下…
		体	高い・低い・中くらい
		空間	集まる・離れる・



◎今日の授業を終えて ~できばえを仲間と振り返ろう~

		100%	50%	0%
1	仲間と協力して楽しく動きづくりができたか			
2	動きと空間の使い方を工夫できたか			
3	表したいイメージにふさわしい流れにできたか			
4	さらに良くするには?			